

社 会（地理的分野）

1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

| 発行者の番号及び略称 | | 教科書名 |
|------------|-----|-------------------------|
| 2 | 東 書 | 新しい社会 地理 |
| 17 | 教 出 | 中学社会 地理 地域にまなぶ |
| 46 | 帝 国 | 社会科 中学生の地理 世界のすがたと日本の国土 |
| 116 | 日 文 | 中学社会 地理的分野 |

2 教科書の調査研究における観点、視点及び方法

| 観点 | | 視点 | 方法 |
|-----|-------------|---|---------------------------------------|
| (ア) | 基礎・基本の定着 | ① 単元の目標の示し方 | 1時間ごとの目標等の記載の仕方と記載例 |
| | | ② 我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫 | 日本の地域区分と中核となる考察の組合せ及び考察する内容 |
| | | ③ 国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫 | 世界の諸地域の地域区分と主題例及び基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫 |
| (イ) | 学習方法の工夫 | ④ 興味・関心を高めるための工夫 | 導入における興味・関心を高める問いや資料の工夫と具体例 |
| | | ⑤ 見通しを立てたり、振り返ったりする学習のための構成上の工夫 | 「身近な地域の調査」における手順とそのため視点や方法 |
| | | ⑥ 作業的・体験的な学習を実施するための工夫 | 作業的・体験的な学習の事例数と事例 |
| (ウ) | 内容の構成・配列・分量 | ⑦ 単元・題材や資料等の配列・分量 | 総ページ数、各大項目のページ数、巻末資料の内容とページ数 |
| | | ⑧ 発展的な学習に関する内容の記述の状況 | 発展的な学習の事例と具体例 |
| (エ) | 内容の表現・表記 | ⑨ 本文記述との適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用 | 資料の種類と掲載数 |
| | | ⑩ 本文以外の記述の工夫 | 脚注・側注等の扱いと掲載数 |
| (オ) | 言語活動の充実 | ⑪ 多面的・多角的に考察させるための工夫 | 小単元における問いの構成 |
| | | ⑫ 目的に応じて適切に表現する力を育てるための工夫 | まとめ方の種類と具体例 |

| | |
|-----------|---------------------|
| 視点 | (ア) 基礎・基本の定着 |
| 視点 | ①単元の目標の示し方 |
| 方法 | 1時間ごとの目標等の記載の仕方と記載例 |

| | 1時間ごとの目標等の記載の仕方 | 記載例 |
|----|--|--|
| 東書 | ○ 見開きごとに、タイトルを「地球のすがたを見てみよう」「地球儀と世界地図を比べてみよう」「地球上の位置をあらわそう」「世界の国々と地域区分」「おもな国々の国名と位置」等の項目で示している。タイトルの右横にコーナーを設け、「しましょう」「どのような」「どうして」という問いかけの形態で、1時間の追究する問題を提示している。 | 「世界のすがた」 ○ 「地球のすがたを、大陸や大洋の大きさ、位置に注意して調べてみましょう。」 ○ 「地球儀と世界地図は、それぞれどのような長所と短所があるのでしょうか。」 |
| 教出 | ○ 見開きごとに、タイトルを「水のある星 地球」「地球上の位置は…」「世界の国々のなりたち」等の項目で示している。タイトルの下にコーナーを設け、「どのような」という問いかけの形態で、1時間の追究する問題を提示している。 | 「わたしたちの地球と世界の地域構成」 ○ 「わたしたちが生きる地球は、どのような特徴をもつ星なのでしょうか。」 ○ 「地球儀を使って地球上の位置を知るには、どのような方法があるのでしょうか。」 |
| 帝国 | ○ 見開きごとに、タイトルを「地球をながめて」「世界のおもな国」「緯度と経度」「地球儀と世界地図の違い」等の項目で示している。また、見開きごとに、「しましょう」という形態で1時間の目標を提示している。 | 「世界の姿」 ○ 「地球の姿を、地球表面の六つの大陸と三つの大洋のようすからとらえてみましょう。」 ○ 「世界のおもな国の国名とその位置をおさえましょう。」 |
| 日文 | ○ 見開きごとに、タイトルを「私たちがくらす地球をとらえる」「世界の国を知る」「緯度・経度のしくみを知る」「地球儀や地図を活用する」等の項目で示している。 最初のページにその中単元全体を通して学習する内容を、前の中単元とのつながりを意識しながら提示している。また、タイトルの近くに「学習課題」のコーナーを設け、「どのような」「してみよう」という形態で1時間の追究する課題を提示している。 | 「世界の姿を知ろう」 ○ 「私たちがくらす地球は、どのような姿をしているのだろうか。」 ○ 「世界の国々を、面積や位置からみてみよう。」 |

| | |
|-----------|------------------------------|
| 観点 | (ア) 基礎・基本の定着 |
| 視点 | ②我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫 |
| 方法 | 日本の地域区分と中核となる考察の組合せ及び考察する内容 |

| | 日本の地域区分 | 中核となる考察 | 考察する内容 |
|-----------|---------|-----------------------|---|
| 東書 | 九州地方 | 環境問題・環境保全に向き合う人々の暮らし | 「中国・四国地方」 ○ 都市と農村の変化と人々の暮らし 1 中国・四国地方の生活の舞台 2 中国・四国地方の人々の営み 3 都市の役割とその課題 4 高齢化が進む農村と町おこし 5 交通網の発展による地域の変化 |
| | 中国・四国地方 | 都市と農村の変化と人々の暮らし | |
| | 近畿地方 | 歴史の中で形づくられてきた人々の暮らし | |
| | 中部地方 | 活発な産業を支える人々の暮らし | |
| | 関東地方 | さまざまな地域と結びつく人々の暮らし | |
| | 東北地方 | 伝統的な生活や文化を守り育てる人々の暮らし | |
| | 北海道地方 | 雄大な自然とともに生きる人々の暮らし | |
| 教出 | 九州地方 | 環境問題と環境保全を中心とした考察 | 「中国・四国地方」 ○ 人口や都市・村落を中心とした考察 1 人口分布のかたよる地域 2 中国・四国地方の中心 広島 3 人口減少と地域のなやみ 4 地域おこしの知恵 5 人口の動きと交通網の発達 |
| | 中国・四国地方 | 人口や都市・村落を中心とした考察 | |
| | 近畿地方 | 歴史的背景を中心とした考察 | |
| | 中部地方 | 産業を中心とした考察 | |
| | 関東地方 | 他地域との結びつきを中心とした考察 | |
| | 東北地方 | 生活・文化を中心とした考察 | |
| | 北海道地方 | 自然環境を中心とした考察 | |
| 帝国 | 九州地方 | 自然環境の視点を中心にして | 「中国・四国地方」 ○ 他地域との結びつきの視点を中心にして 1 中国・四国地方はどのような地方だろうか 2 交通網の発達と地域の生活の変化 3 海運と陸運で結びつく工業 4 高速道路で広がる結びつき |
| | 中国・四国地方 | 他地域との結びつきの視点を中心にして | |
| | 近畿地方 | 環境保全の視点を中心にして | |
| | 中部地方 | 産業の視点を中心にして | |
| | 関東地方 | 人口や都市の視点を中心にして | |
| | 東北地方 | 生活・文化の視点を中心にして | |
| | 北海道地方 | 歴史的背景の視点を中心にして | |
| 日文 | 北海道地方 | 自然環境をテーマに | 「中国・四国地方のようす」 ○ 人口をテーマに 1 中国・四国地方の姿 2 人口の集中する地域のようす 3 過疎化の進む地域の努力 4 自然環境や産業と都市の分布 5 中国・四国地方の結びつき |
| | 東北地方 | 文化をテーマに | |
| | 関東地方 | 結びつきをテーマに | |
| | 中部地方 | 産業をテーマに | |
| | 近畿地方 | 歴史的背景をテーマに | |
| | 中国・四国地方 | 人口をテーマに | |
| | 九州地方 | 環境問題をテーマに | |

| | | |
|-----------|--|--|
| 観点 | (ア) 基礎・基本の定着 | |
| 視点 | ③国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫 | |
| 方法 | 世界の諸地域の地域区分と主題例及び基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫 | |

| | 世界の諸地域の地域区分 | 主題例 | 基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫 |
|-----------|-------------|------------------------------|---|
| 東書 | アジア州 | 急速に進む成長と変化 | ○ 単元の内容に合わせ、「地理スキルアップ」のコーナーで基礎的な知識・技能を習得するようにしている。 |
| | ヨーロッパ州 | 国どうしの統合による変化 | |
| | アフリカ州 | おもな生産品にたよる生活からの変化 | |
| | 北アメリカ州 | さかんな農業や工業の特色 | |
| | 南アメリカ州 | 開発の進展と環境問題 | |
| | オセアニア州 | 強まるアジアとの結びつき | |
| 教出 | アジア州 | アジアの多様性と経済発展 | ○ 見開きの「地図の活用にチャレンジ！」で地図の活用方法を習得できるようにしている。 ○ 単元の内容に合わせ、「地域調査の手引き」のコーナーで世界の様々な地域や国、身近な地域における調査の視点や方法を習得するようにしている。 |
| | ヨーロッパ州 | アフリカの人々の暮らしとその変化 | |
| | アフリカ州 | 統合を強めるヨーロッパの国々 | |
| | 北アメリカ州 | 世界に大きな影響力をもつ北アメリカ | |
| | 南アメリカ州 | 南アメリカの開発と環境 | |
| | オセアニア州 | 他地域と結びつくオセアニア | |
| 帝国 | アジア州 | 身近なものからみたアジア | ○ 単元の内容に合わせ、「地理の技能をみがくコーナー」で基礎的な知識・技能を習得できるようにしている。 |
| | ヨーロッパ州 | 国境を自由に越えられる暮らし | |
| | アフリカ州 | 植民地支配の歴史と産業のかかわり | |
| | 北アメリカ州 | 世界をリードする大規模な産業 | |
| | 南アメリカ州 | ブラジルにみる環境問題と対策 | |
| | オセアニア州 | 移民と多文化社会 | |
| 日文 | アジア州 | 集中する人口や変化に富む自然環境と人々の暮らしをテーマに | ○ 単元の内容に合わせ、「本コーナー」で基礎的な技能を習得できるようにしている。 ○ 小学校の復習を促す活動や問いかけを取り入れている。 |
| | ヨーロッパ州 | 文化や産業の歴史的背景をテーマに | |
| | アフリカ州 | 伝統的な文化と近代化をテーマに | |
| | 北アメリカ州 | 世界じゅうに影響をあたえる産業をテーマに | |
| | 南アメリカ州 | 開発と環境問題をテーマに | |
| | オセアニア州 | 結びつきの変化をテーマに | |

| | |
|-----------|-----------------------------|
| 観点 | (イ) 学習方法の工夫 |
| 視点 | ④興味・関心を高めるための工夫 |
| 方法 | 導入における興味・関心を高める問いや資料の工夫と具体例 |

| | 導入における興味・関心を高める 問いや資料の工夫 | 具体例 |
|----------------|---|---|
| 東 書 | ○ 大単元の導入において、1ページ又は見開き2ページにより、単元に関する地図や写真を掲載し、キャラクターによる問いかけや学習内容の説明等が掲載されている。 世界のさまざまな地域の調査及び身近な地域の調査においては、調査手順が示されている。 | 「日本の位置を調べよう」 ○ 「地球儀や地図を活用すると、日本の位置はどのようにあらわすことができるのでしょうか。」という問いが掲載されている。 ○ 北緯40度、東経140度の交差標識の写真、日本と同緯度、同経度の範囲を示した地図が掲載されている。 |
| 教 出 | ○ 大単元の導入において、半ページから3ページにより、単元に関する主題図、地形図、雨温図、写真を掲載し、キャラクターによる問いかけや学習内容の説明等が掲載されている。 | 「世界のなかの日本の位置」 ○ 『『日本は極東に位置する』という表し方がありますが、『極東』とは『東の果て』という意味です。これは、ヨーロッパを中心としたときのアジア東部を指す表し方ですね。』というキャラクターの説明が掲載されている。 ○ 日本の周りに位置する国の国名を地図中に書き込むようになっている。 |
| 帝 国 | ○ 大単元の導入において、すべての大単元で導入のページを設けているわけではないが、日本の諸地域学習においては、日本の地方区分図を示すとともに地図を掲載して、吹き出しでキャラクターが地図から読み取ったことを掲載している。 | 「世界の中での日本の位置」 ○ 「世界各国の中学生に、自分の国から見た日本の位置についてメールを送ってもらったの。それぞれのメールの送り主は、右の3人の中のどれかわかるかな？」というキャラクターの問いかけが掲載されている。 ○ 日本を中心とした世界地図、ヨーロッパとアフリカを中心とした世界地図を掲載している。 |
| 日 文 | ○ 大単元の導入において、見開き2ページの「ナビ」を設け、学習内容の概要を示すとともに、単元に関する写真、地図等を掲載し、キャラクターによる説明や問いかけ、表への書きこみ等を掲載している。 ○ 世界のさまざまな地域の調査及び身近な地域の調査においては、調査手順が示されている。 | 「日本の姿を知ろう」 ○ 「日本が世界のどこにあるかを説明するには、どのようにすればよいのかな。」というキャラクターの問いかけが掲載されている。 ○ 日本とその周辺の様子を表した地図、日本を中心にした地球の図、ユーラシア大陸から見た日本の地図、日本と緯度、経度が等しい国を表した世界地図が掲載されている。 |

| | |
|-----------|--------------------------------|
| 視点 | (イ) 学習方法の工夫 |
| 視点 | ⑤見通しを立てたり、振り返ったりする学習のための構成上の工夫 |
| 方法 | 「身近な地域の調査」における手順とそのための視点や方法 |

| | 「身近な地域の調査」における手順 | 視点や方法 |
|----|--------------------|--|
| 東書 | ① 情報を集める | ○ 高い場所からながめる ○ 空中写真を見る ○ 通学路で気づいたことをあげる |
| | ② テーマを決める | ○ テーマを考える |
| | ③ 仮説を立てる | ○ 仮説を立てる |
| | ④ 調査計画を立てる | ○ 調査計画書をつくる |
| | ⑤ 調査 | ○ 野外調査の準備①② ○ 野外観察をする ○ 聞き取り調査をする ○ 集めた資料で調査する |
| | ⑥ 考察とまとめ | ○ 調査結果をまめる ○ 意見を交換する |
| | ⑦ 発表 | ○ 発表のシナリオをつくって発表する ○ ほかのグループの発表を聞く ○ 地域のあるべき姿を考える |
| 教出 | ① 地域をながめて | ○ 調査全体の見通しを立てる ○ 野外観察の主な視点 |
| | ② 地形図の見方を知ろう | ○ 特に示されていない |
| | ③ 地形図を活用しよう | ○ 地形図の読み取りの方法 |
| | ④ 調査テーマを決めて計画を立てよう | ○ 気づいたことや疑問を分類する ○ 調査テーマを決める ○ 調査計画書にまとめる |
| | ⑤ 調べよう | ○ 統計資料からグラフをつくり、わかったことを表現する ○ 聞き取り調査の進め方 ○ 新旧の住宅地図を比較する ○ 風景の変化を読む |
| | ⑥ 発表会を開こう | ○ 特に示されていない |
| | ⑦ 地域に向けて発信しよう | ○ 特に示されていない |
| | ⑧ レポートにまとめよう | ○ 特に示されていない |
| 帝国 | ① テーマを決める | ○ 疑問を整理して調べるテーマを決める |
| | ② 仮説を立てる | ○ テーマに対して仮説を立てる ○ 仮説を確かめる方法を考える |
| | ③ 調べる | ○ 実際に野外調査をしてみよう ○ 新旧の地形図を比べて地域の変化を調査してみよう ○ 統計書などの資料から調査してみよう |
| | ④ 仮説を確かめる | ○ 資料の関連を考える ○ 仮説を確かめ、地域の課題をとらえる |
| | ⑤ 話し合う・発表する | ○ 調査で出た地域の課題に対し意見交換をする ○ 調査の結果をまとめて発表する |
| 日文 | ① 野外観察をする | ○ 地形図を読み取る ○ 野外観察に出かける |
| | ② 調査テーマを決める | ○ 野外観察の結果を整理する ○ 調査テーマを決める ○ 調査を始める前に |
| | ③ 調査方法を考える | ○ 聞き取り調査をする ○ 文献資料を使って調べる ○ 新旧の地形図を見比べる |
| | ④ 調査をする | ○ 再度歩く ○ 聞き取り調査をして、調査内容を深める ○ 写真の撮影方法 ○ 統計からグラフをつくる |
| | ⑤ 調査結果を整理し、まとめる | ○ レポートの書き方 ○ ホームページへのまとめ方 |
| | ⑥ 地域の課題と解決策を考える | ○ 地域の行事に参加することから始めよう |

| | |
|-----------|-----------------------|
| 観点 | (イ) 学習方法の工夫 |
| 視点 | ⑥作業的・体験的な学習を実施するための工夫 |
| 方法 | 作業的・体験的な学習の事例数と事例 |

| | 事例数 | 作業的・体験的な学習の事例 |
|----|-----|--|
| 東書 | 29 | ○ 教科書への書き込み，地図帳の活用，地球儀の活用，地図帳の索引引き，地球儀を使つての距離と方位調べ，略地図をかく，インターネットの活用，写真の読み取り，主題図の読み取り，グラフの読み取り，調査テーマ選び，ウェビングマップづくり，調査計画作成，アンケート調査，統計資料を活用したグラフづくり，主題図づくり，壁新聞づくり，レポート作成，ポスターづくり，発表会，時差計算，地形図の読み取り，人口ピラミッドづくり，景観の読み取り，野外観察，ルートマップづくり，聞き取り調査，調査結果を地図へまとめる，GISの活用 |
| 教出 | 31 | ○ 教科書への書き込み，地図帳の索引引き，地球儀の活用，地図帳の活用，略地図を描く，グラフの読み取り，新聞記事調べ，風景写真の読み取り，基本的な情報の整理，主題図を読み取る，テーマ設定，インターネットの活用，調べたことを図や地図に表現，レポート作成，発表会，時差計算，排他的経済水域の面積計算，百科事典の活用，ハザードマップ調べ，新聞づくり，野外観察，地形図の利用，縮尺の計算，ルートマップの作成，調査計画書の作成，聞き取り調査，統計資料づくり，地形図の読み取り，統計資料からのグラフづくり，新旧の住宅地図の比較，イラストマップづくり |
| 帝国 | 28 | ○ 教科書への書き込み，地図帳の活用，インターネットの活用，統計資料の活用，国名しりとり歌づくり，地図帳の索引引き，地球儀での距離と方位調べ，略地図をかく，写真の読み取り，雨温図の読み取り・作成，文章資料からの情報の読み取り，グラフの読み取り・作成，主題図の読み取り・作成，統計表・統計グラフから調べる，新聞記事・テレビ番組・体験記などから調べる，レポート作成，発表会，時差の計算，人口ピラミッドの読み取り，関連図の作成，ハザードマップの活用，調査テーマの決定，調査計画書の作成，野外活動，聞き取り調査，地形図の活用，ルートマップづくり，新旧の地図比べ |
| 日文 | 32 | ○ 教科書への書き込み，地図帳の活用，地球儀の活用，地図帳の索引引き，地球儀を使った方位と距離調べ，略地図をかく，雨温図の読み取り，地図の読み取り，インターネットの活用，統計数値の活用，旅行体験記や小説の活用，映像資料の活用，レポートの作成，円・棒・帯グラフの作成，壁新聞にまとめる，発表会，時差の計算，地形図の活用，人口ピラミッドの作成，景観写真の読み取り，調査テーマの決定，野外観察，ルートマップの作成，関連図づくり，聞き取り調査，アンケート調査，文献資料の活用，ルートマップの作成，写真撮影，統計からのグラフ作成，年表づくり，旅行計画づくり |

| | |
|-----------|------------------------------|
| 観点 | (ウ) 内容の構成・配列・分量 |
| 視点 | ⑦単元・題材や資料等の配列・分量 |
| 方法 | 総ページ数，各大項目のページ数，巻末資料の内容とページ数 |

| | 総ページ | 世界のさまざまな地域 | 日本のさまざまな地域 | 巻末資料 | 目次・巻頭資料等 |
|----|------|------------|------------|----------------------------------|----------|
| 東書 | 270 | 108 | 137 | 統計資料 (6) 用語解説 (4) さくいん (4) | 11 |
| 教出 | 292 | 112 | 145 | 用語解説 (6) 統計資料 (4) さくいん (4) | 21 |
| 帝国 | 290 | 118 | 157 | さくいん (4) | 11 |
| 日文 | 318 | 116 | 178 | 統計資料 (5) さくいん (6) | 13 |

| | |
|-----------|------------------------|
| 観点 | (ウ) 内容の構成・配列・分量 |
| 視点 | ⑧発展的な学習に関する内容の記述の状況 |
| 方法 | 発展的な学習の事例と具体例 |

| | 発展的な学習の事例 | 具体例 |
|----------------|---|--|
| 東 書 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 深めよう <ul style="list-style-type: none"> ・世界の気候 ・地球環境問題 ・他民族他文化社会 ○ 自由研究 <ul style="list-style-type: none"> ・資源の豊富な西アジア ・ヨーロッパの影響を受ける北アフリカ ・開発によって変化する南アフリカ ・いろいろな視点から韓国を調べる ・地名や特産品名の由来と各地の郷土料理 ○ 発展 <ul style="list-style-type: none"> ・大陸も海底も移動する | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「地球環境問題」 <ul style="list-style-type: none"> ・キャラクターによる問題提起「どのような取り組みが重要なのか、考えてみましょう。」 ・ヨーロッパの環境問題の現状について説明 ・環境に配慮した生活について、ドイツの取り組みやEU 共通の実践の説明 ・酸性雨対策で石灰をまく軽飛行機の写真（ドイツ 2009） ・地球温暖化に対する各国の取組の説明 ・地球の平均気温と年平均気温との差の移り変わりを示した棒グラフ（気象庁資料） |
| 教 出 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域から世界を考えよう <ul style="list-style-type: none"> ・発展途上国の都市と貧困 ・甘いチョコレートの苦い現実 ・原子力発電と環境問題 ・世界に展開する軍勢力 ・移動する人々ー日系移民の苦難の歴史 ・進む地球温暖化の影響 ○ 現代日本の課題を考えよう <ul style="list-style-type: none"> ・公害を乗り越えて ・荒廃の進む日本の山村 ・東アジアと結びつく町 ・多文化共生を旨として ・交流による地域づくり ・世界遺産と街並みを守る ・アイヌの人たちの文化に学ぶ ○ 活用 <ul style="list-style-type: none"> ・世界の略地図を描く | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「進む地球温暖化の影響」 <ul style="list-style-type: none"> ・囲み枠内に問題提起の文章「どのような状況がみられるのか、ツバルを例にみてみましょう。」 ・ツバルの国土・歴史等の概要説明 ・海面上昇の実態と被害状況の説明 ・2007年11月、国際連合の「気候変動に関する政府間パネル」（IPCC）開催後の報告書の紹介。 ・同じ場所の干潮時と満潮時の変化を示す写真2枚（2004年 ツバル） |
| 帝 国 | <ul style="list-style-type: none"> ○ さらに深めよう <ul style="list-style-type: none"> ・地球温暖化問題についてみてみよう ・日本の発電所と新エネルギー ・通信技術を生かした過疎地域の取り組みを見よう ・環境保全に向けて私たちができること ・異文化をもつ人々の増加と共生を考えよう ・地域によって異なる食文化について考えよう ・近代産業遺産から歴史的背景を知ろう ○ あなたならどうする？ <ul style="list-style-type: none"> ・ハザードマップから防災を考えよう ・自動車工場の立地を考えよう | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「地球温暖化問題についてみてみよう」 <ul style="list-style-type: none"> ・地球温暖化に対して文章で問題提起「地球温暖化が進むことで、私たちの生活にどのような影響が出ているのかみていきましょう。」 ・氷河の変化について、1928年と2004年の2枚の写真を比較 ・農作物への影響について、九州地方の一等米の比率を示すグラフと大分県の水田の写真1枚 ・地球温暖化に対応して現在の気候にあった品種「にこまる」の栽培の説明 ・2081～2100年の平均気温と1981～2000年の平均気温の差を予測した図 ・世界の二酸化炭素排出量の変化を示した折れ線グラフ ・地球温暖化の現状と背景の説明 |

| | | |
|--------|--|--|
| 日 文 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習の活用 <ul style="list-style-type: none"> ・世界のくらしをふりかえろう ・世界の州をふりかえろう ・クラスで発表会をしよう ・日本の姿をふりかえろう ・日本の地方をふりかえろう ・私たちにできることを考えよう ○地理ズームイン <ul style="list-style-type: none"> ・北極地方と南極地方 ・バーチャルウォーターからみた世界 ・ヒートアイランドとゲリラ豪雨 ・阪神・淡路大震災 ・先端技術の進歩と産業の変化 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「ヒートアイランドとゲリラ豪雨」 <ul style="list-style-type: none"> ・ヒートアイランドとゲリラ豪雨について文章で問題提起「都市部では、都市の中心部で郊外よりも気温が上昇したり、集中豪雨が増えたりして、問題になっています。そのメカニズムをさぐってみましょう。」 ・関東地方で1年間に気温が30度以上になる時間数について、1980～1984年と2000～04年の変化を表した地図 ・ヒートアイランド現象の現状と仕組みについて説明 ・都市部に発生する集中豪雨について現状の説明 ・東京の年間熱帯夜日数の変化をあらわした棒グラフ ・アスファルトの表面温度を示した図 ・ゲリラ豪雨による浸水被害の写真 ・ドライミストを散布して周辺の温度を下げる取り組みの写真 ・路面電車の軌道緑化の写真 ・クールアイランドについての説明 |
|--------|--|--|

| | |
|-----------|--------------------------------|
| 観点 | (エ) 内容の表現・表記 |
| 視点 | ⑨本文記述との適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用 |
| 方法 | 資料の種類と掲載数 |

| | 挿絵 | 写真 | 地図 | 図表 |
|--------|-----|-----|-----|-----|
| 東 書 | 100 | 533 | 212 | 146 |
| 教 出 | 23 | 481 | 230 | 119 |
| 帝 国 | 66 | 495 | 183 | 176 |
| 日 文 | 31 | 692 | 233 | 198 |

(注) 分布図は地図に、国旗・似顔絵（キャラクターは除く）・まとめの例（新聞や略地図の絵）は挿絵に含める。
(注) まとめて並んでいる同じ種類の図表は、一つに数える。

| | | |
|-----------|---------------------|---------------|
| 観点 | (エ) 内容の表現・表記 | |
| | 視点 | ⑩本文以外の記述の工夫 |
| | 方法 | 脚注・側注等の扱いと掲載数 |

| | 脚注と側注等の扱い | 掲載数 |
|--|---|-----|
| 東 書 | ○ 巻末に「用語解説」を設けている。 | 70 |
| | ○ コラム「地理にアクセス」「人物コラム」「一口エピソード」により、本文を補完する資料を掲載している。 | 77 |
| | ○ 「地理スキル・アップ」により、地理学習し基礎的な知識・技能などを習得させるコーナーを設けている。 | 24 |
| | ○ 「ためしてみよう」により、小学校の学習のふり返りなどの活動を紹介している。 | 32 |
| | ○ 「えんぴつマーク」により、学習を深めるのに適した作業や活動を紹介している。 | 35 |
| | ○ 「確認」により、学習内容を確認したり、さらに深めたりする課題を掲載している。 | 78 |
| | ○ キャラクターによる「疑問の投げかけ」、「気づき」、「学習への働きかけ」などの吹き出しがある。 | 243 |
| 教 出 | ○ 巻末に「用語解説」を設けている。 | 74 |
| | ○ コラム「地理の窓」により、身近な話題を紹介している。 | 42 |
| | ○ 「トライ！」により、学習したことを整理・表現したり、さらに学習を広げたり、深めたりしながらまとめたり、広めたり表現する活動を紹介している。 | 88 |
| | ○ 「読み解こう」により、資料を読み取り、考察する活動を設けている。 | 19 |
| | ○ 各単元の写真や資料に関して詳しい説明がなされている。 | 77 |
| | ○ 四角囲みで学習課題を示している。 | 105 |
| | ○ キャラクターによる「疑問の投げかけ」、「気づき」、「学習への働きかけ」などの吹き出しがある。 | 160 |
| 帝 国 | ○ 「解説」により、難しい言葉やことがらを、説明している。 | 15 |
| | ○ 「技能をみがく」により、地理の基本的な技能を身につけるコーナーを設けている。 | 15 |
| | ○ 「チェック&トライ」により、学習の振り返り、さらに興味・関心を深める課題を示している。 | 89 |
| | ○ 虫眼鏡のマークにより、写真や地図、グラフなどを読み取るときのポイントを示している。 | 75 |
| | ○ 「声」により、現地に住む人や実際に働いている人の、具体的な話を紹介している。 | 30 |
| | ○ 「地理のポイント」により、地理を学習する上で、大切なポイントをまとめている。 | 24 |
| | ○ 「参照」により、関連するページや資料を示している。 | 30 |
| | ○ 番号により、用語やそれに関することを説明している。 | 42 |
| ○ キャラクターによる「疑問の投げかけ」、「気づき」、「学習への働きかけ」などの吹き出しがある。 | 122 | |
| 日 文 | ○ 「キーワード」により、地理の学習を理解する上で、重要な用語を解説している。 | 35 |
| | ○ 「本コーナー」により、地理学習を進めるにあたって必要な知識・技能を解説している。 | 31 |
| | ○ 「学習課題」により、何を学んでいくのかを示している。 | 111 |
| | ○ 「？」により、図版を読み取ったり、それをもとに考えたりする活動を示している。 | 70 |
| | ○ 「学習課題を確かめよう」により、学習課題をとらえることができたかを確認する問いが示してある。 | 87 |
| | ○ コラム「環境+α」により、環境問題や防災・減災に関する内容を示している。 | 17 |
| | ○ コラム「世界のいま」「日本のいま」により、「世界と日本の今の姿」がわかるようにしている。 | 37 |
| | ○ 番号により、用語やそれに関することを説明している。 | 39 |
| ○ キャラクターによる「疑問の投げかけ」、「気づき」、「学習への働きかけ」などの吹き出しがある。 | 156 | |

| | |
|-----------|---------------------|
| 観点 | (才) 言語活動の充実 |
| 視点 | ⑪多面的・多角的に考察させるための工夫 |
| 方法 | 小单元における問いの構成 |

| 小单元における問いの構成 | |
|--------------|--|
| 東 書 | 「北海道地方」 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ○ 北海道地方を大きくながめて、生活の舞台となる自然環境の特色をおさえましょう。 ○ 北海道地方を大きくながめて、人口や産業の特色をおさえましょう。 ○ 北海道地方の人々は、特色ある自然環境の中で、どのように生活してきたのでしょうか。 ○ 北海道地方の産業は、どのように自然環境を生かしているのでしょうか。 ○ 北海道地方では、今後、自然環境をどのように生かそうとしているのでしょうか。札幌市を例に考えましょう。 |
| 教 出 | 「北海道地方」 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ○ 北海道地方は日本のほかの地域と比べて、どのような特色がみられるのでしょうか。 ○ 寒冷な気候のなかで、人々はどのように適応して生活しているのでしょうか。 ○ 北海道は日本の食料生産において、どのような役割をもつのでしょうか。 ○ 北洋漁業にはどのような特色や変化がみられるのでしょうか。 ○ 北海道の経済にとって観光産業はどのような位置にあるのでしょうか。 ○ アイヌの人たちの歴史や文化を知り、日本社会における多文化の共存について考えてみましょう。 |
| 帝 国 | 「北海道地方」 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ○ 北海道地方の地形や気候などを大まかにとらえ、北海道地方の特色を追究する課題を決めましょう。 ○ 北海道地方の産業や都市の発達の様子を、アイヌの人々や開拓の歴史に着目して調べていきましょう。 ○ 北海道地方の農業を、自然のきびしさを克服した歴史の違いに着目して調べていきましょう。 ○ 北海道地方の漁業を、とれる魚の種類の変化とその背景に着目して調べていきましょう。 ○ 北海道地方から二つ、他の地域から一つの例を取り上げて、その地理的、歴史的背景をみていきましょう。 |
| 日 文 | 「北海道地方のようす」 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ○ 北海道地方のようすを確認し、その位置を復習しよう。 ○ 北海道の地形や気候について、学習していこう。 ○ 北海道の産業の特徴を、自然環境との関係から考えてみよう。 ○ 現在の北海道の景観は、自然環境をどのように開発して形づくられたのだろう。 ○ 北海道の自然環境は、人々のくらしにどのような影響をあたえているのだろう。 ○ 有珠山の噴火を例に、防災への取り組みがどうなされたのかをみていきましょう。 |

| | |
|-----------|--------------------------|
| 観点 | (オ) 言語活動の充実 |
| 視点 | ⑫目的に応じて適切に表現する力を育てるための工夫 |
| 方法 | まとめ方の種類と具体例 |

| | まとめ方の種類 | 具体例 |
|----------------|--|--|
| 東 書 | ○ 地図、グループ分け、説明文、表、インターネット、グラフ、新聞、レポート、ポスター、略地図、分布図、話し合い、発表会、マッピング(関連図) | <p>「世界各地の人々の生活と環境」</p> <p>○ この章の学習をふり返って、みんなで考えてみよう。</p> <p>① 右の語句は、この章で学習した語句です。それぞれの語句は世界各地のどこで学んだものか、教科書を見直ししながら、A～Gの七つのグループに分けてみましょう。</p> <p>② 世界各地の人々の生活と環境について、下の表の①～③に入る語句を答え、各地の特色をまとめましょう。</p> <p>③ 日本の伝統的な食事や住居の特徴を考え、それが見られる理由を自然環境に着目して考えましょう。</p> |
| 教 出 | ○ 写真、略地図、比較文、表、地図、説明文、グラフ、分布図、レポート | <p>「人々の生活と環境」</p> <p>○ 学習のまとめと表現</p> <p>1 地図を使って確かめよう</p> <p>① 次の a, b の気候の特色をもつ地域の広がりや、上の地図のなかに着色しよう。</p> <p>② 地図に示した A, B, C, D の国名と、その国で主に信仰されている宗教を上表に書き入れて完成させよう。</p> <p>2 表現しよう</p> <p>① 次の気温と降水量のグラフどうしを比べて、東京の気候の特色を文章で書いてみよう。</p> <p>② 主にイスラム教が信仰されている地域の広がりや、自然環境や言語の広がりにはどのような関係がみられるのか、50字以内の文章で書いてみよう。</p> |
| 帝 国 | ○ 略地図、グラフ、表、分布図、マッピング(関連図)、説明文、地図 | <p>「世界各地の人々の生活と環境」</p> <p>○ 学習のまとめ</p> <p>① 略地図に気候と宗教の分布をかいてみよう</p> <p>1 世界各地の人々の生活とかかわりが深い五つの気候帯の分布を地図にしてみましょう。</p> <p>2 世界各地の人々の生活には、宗教も大きな影響を与えています。三つの宗教の分布を大まかに入れてみましょう。</p> <p>② 生活のようすと環境のかかわりを整理しよう</p> <p>1 四つの地域における人々の生活のようすを、伝統的なものと、変化してきているものに分けて表にまとめてみましょう。</p> <p>2 世界各地の人々の生活のようすをまとめていきましょう。空欄部分に、自分の言葉で書き入れてまとめてみましょう。まとめたあとで、クラスのほかの人と意見交換してみましょう。</p> |
| 日 文 | ○ 地図、説明文、表、重要語句キーワード、インターネット、略地図、年表、壁新聞、発表会、レポート、グラフ、ポスター | <p>「世界各地の人々の暮らし」</p> <p>○ 世界の暮らしをふりかえろう。</p> <p>① 主食や言語の分布を見ながらふりかえる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 右の二つの地図のなかに、この章で学習した地域の位置を、番号で書きこみましょう。 ・ ①～⑧の地域的主食を確認しましょう。 ・ ①～⑧の地域の言語を確認しましょう。 ・ 日本の主食と言語を確認しましょう。 <p>② 日本の暮らしを文章にまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日本の暮らしを、文章にまとめてみましょう。みなさんや、みなさんの家族の暮らしを、衣服・食事・住居などの点からまとめましょう。 |